



# 浜松市デジタル・スマートシティ 官民連携プラットフォーム 第4回運営委員会



令和6年3月28日



## 1 開会

## 2 取組状況・各種動向

- (1) 令和5年度の取組について
- (2) ドローン利活用について
- (3) 大学・高校との連携について
- (4) 新フェローの委嘱について
- (5) 来年度のスケジュールについて

## 3 意見交換

- (1) デジスマ構想第1期総括及び第2期に向けて  
※白坂フェロー講演（動画）
- (2) ウェルネスの推進について
- (3) その他

## 4 閉会

# あいさつ



---

委員長（浜松市副市長） 山名 裕

## 1. 会議参加時

---

- 基本的に「ビデオはON」、「音声はOFF（ミュート）」

## 2. ご発言時

---

- オンラインでの参加者  
「音声をミュート解除」し、最初にお名前をお伝えいただいたのちにご発言ください。
- 現地参加者  
テーブルのマイクにてご発言ください。

## 2 取組状況・各種動向

---

# (1) 令和5年度の取組について

## ① ウェビナーシリーズ

# ウェビナーシリーズ

デジタル・スマートシティ浜松の一層の推進に資する「ウェビナー」を、年4回開催。

## <スケジュールと紹介分野>

### 第1回

データ連携基盤を活用した  
地域課題の解決と地域の活性化  
～持続可能なエコシステムを目指して～

8月3日

### 第3回

世界のスマートシティのトレンド  
～スマートシティ エキスポ ワールド  
Congress2023参加報告～

12月26日



10月31日

### 第2回

次代を担う若者の参加による  
デジタル・スマートシティの推進

1月31日

### 第4回

データ連携基盤(Fiware)活用の  
エコシステム形成に向けて  
～コミュニティと  
ビジネス環境の強化～

浜松デジタル・スマートシティMONTHのHPにて、当日の動画と資料を公開しています。

<https://www.month.hdsc.city/webinar/2024-04>

## 第4回 データ連携基盤(Fiware)活用のエコシステム形成に向けて

～コミュニティとビジネス環境の強化～

令和6年1月31日（水） 10：15-12：00 参加申込者：95名

### 取組紹介

- ① Fiware Foundationへの加入とエコシステム形成に向けて  
浜松市デジタル・スマートシティ推進課長 瀧本陽一
- ② iHub Baseの機能を活用したコミュニティの活性化とグローバルな展開  
iHub Base ゼネラルコミュニティマネージャー 笹野修平氏
- ③ MoCプログラムを通じたともにつくる協調領域  
(一社)コード・フォー・ジャパン MoCプロジェクトマネージャー 酒井一樹氏
- ④ データ連携基盤を活用したサービスの実装に向けて  
(一社)スマートシティ社会実装コンソーシアム  
事務局/コミュニティマネージャー 土屋俊博氏
- ⑤ 公共分野の共創エコシステム形成に向けたAWSの取り組み・支援  
アマゾン ウェブサービス ジャパン合同会社  
シニア事業開発マネージャー 岩瀬霞氏
- ⑥ データ連携基盤 (Fiware) のSaaS提供  
インフォ・ラウンジ株式会社 代表取締役 肥田野正輝氏
- ⑦ データ連携基盤 (Fiware) を活用した取組事例  
(株)インテック クロスインダストリー企画部長 安吉貴幸氏
- ⑧ エコシステム形成に向けたアカデミアの役割  
静岡大学 土木情報学研究所 所長 木谷友哉氏

### パネルディスカッション

- ▼登壇者：笹野氏、酒井氏、土屋氏、岩瀬氏、肥田野氏、安住氏、木谷氏、瀧本
- ▼ファシリテーター：(株) HEART CATCH 西村真里子氏

# (1) 令和5年度の取組について

## ② 講師派遣制度

# 令和5年度 官民連携PF会員 講師派遣制度実績

No.	開催日	時間	学校名	学年	クラス数	受講者数	講師	備考
1	6月5日	13:20-14:05	浜松市立可美小学校	5	4	130	県森林・林業研究センター	
2	7月4日	13:15-14:00	浜松市立篠原小学校	6	4	121	ソフトバンク(株)	
3	7月11日	13:20-14:05	浜松市立東小学校	6	2	59	遠鉄システムサービス	
4	9月5日	8:25-12:00	浜松市立瑞穂小学校	6	4	130	遠鉄システムサービス	中日新聞掲載 (9/9)
5	9月5日	12:55-13:40	浜松市立北浜小学校	6	3	94	(株)ドコモ ビジネスソリューションズ	
6	9月11日	13:25-15:05	浜松市立葵が丘小学校	6	2	70	ソフトバンク(株)	ケーブルテレビ 放送 (9/14)
7	11月1日	11:45-12:30	浜松市立南の星小学校	6	2	49	(株)トラジェクトリー	
8	1月15日	13:15-14:55	浜松市立竜禅寺小学校	6	2	52	ソフトバンク(株)	

8つの小学校（6年生7校、5年生1校）で実施 705名の児童が受講した。

No.	講師	講座名	備考
1	静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センター	スマート林業の現状と今後の展望	
2	ソフトバンク株式会社	ミライの社会を覗いてみよう！	
3	株式会社ドコモソリューションズ 静岡支店	モバイル通信と防災のお話し	
4	株式会社トラジェクトリー	ドローンの未来について	
5	西日本電信電話株式会社	食農分野での取り組みと静岡の ワサビ産業への取組（データ活用）のご紹介	
6	西日本電信電話株式会社	e-Sportsをトリガーとした コミュニケーション促進	
7	日本電気株式会社	未来の街のオンライン見学	R5まで
8	認定NPO法人はままつ 子育てネットワークぴっぴ	身近な課題をデジタルで解決する	

No.	講師	講座名	備考
9	浜松スマート農業推進協議会	浜松市のスマート農業	
10	株式会社フジヤマ	地理情報(GIS)	
11	特定非営利活動法人 六星・ウイズ	ICTを考える	
12	リンクウィズ 株式会社	産業分野におけるイノベーション創出とDX	
13	遠鉄システムサービス株式会社	デジタル技術の変革による生活の変化を知ろう (Society4.0から5.0へ)	
14	イーデザイン損害保険株式会社	子どもの交通安全意識を高める 「もしかも授業」	R5.6月追加
15	RainTech株式会社	自分のまちのデジタル防災マップを作ろう	R6.1月追加

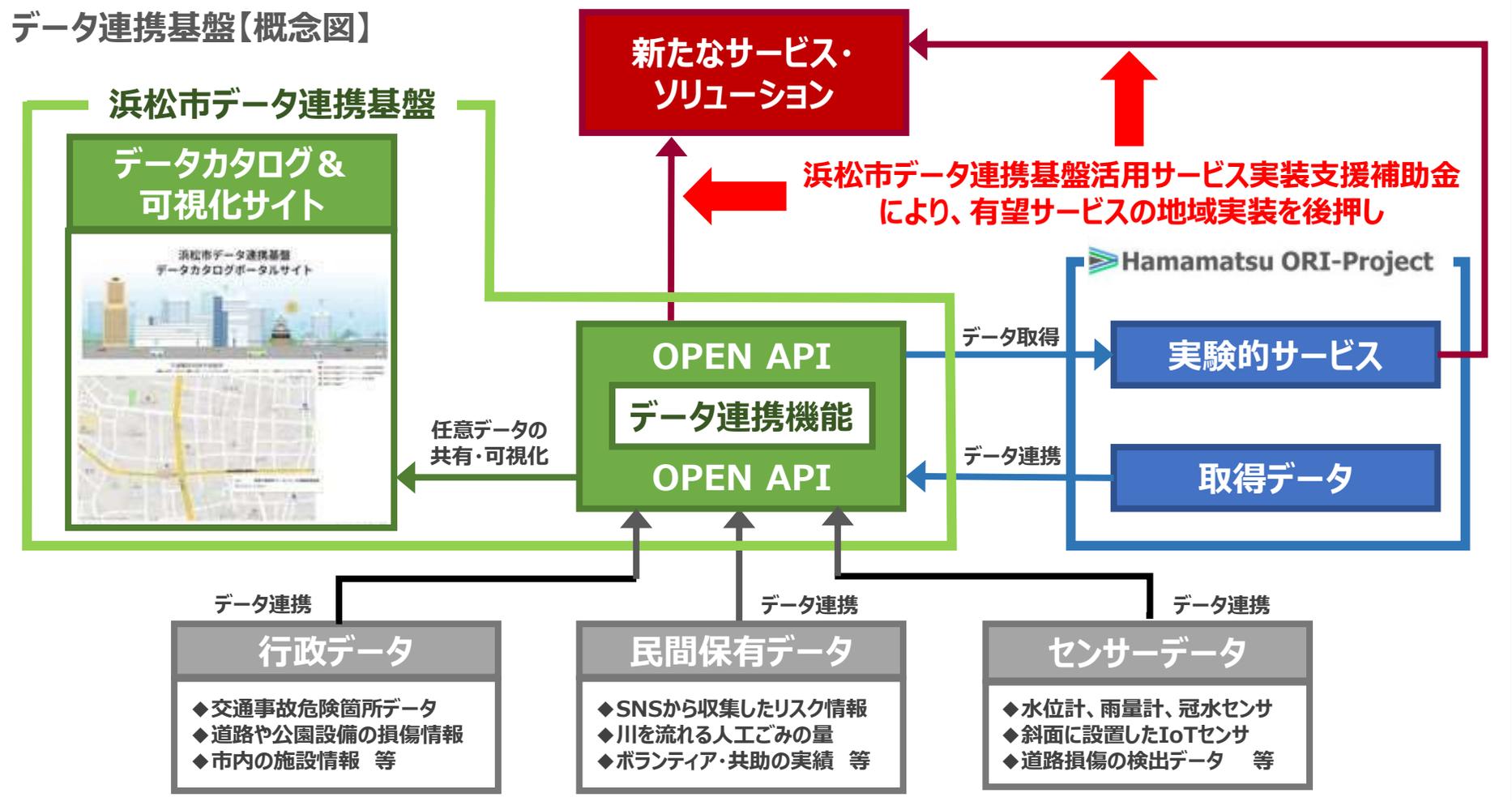
# (1) 令和5年度の取組について

## ③ 浜松市データ連携基盤

# 浜松市データ連携基盤について

- データ連携基盤は、データの翻訳と認証送達機能を核とし、分散して存在する多種多様なデータの「ハブ」となり、「データの流通・連携を促進」する機能をもった基盤です。
- 浜松市は、令和4年度に本番運用環境のデータ連携基盤をSaaSとして導入し、稼働させました。
- 浜松市は、令和5年11月、日本の地方自治体として初めてFIWARE Foundationに加入しました。

## データ連携基盤【概念図】



# 令和5年度の浜松市データ連携基盤活用促進事業の実績について



## Hamamatsu ORI-Project

- 今年度は、「地域課題解決型」と「スポンサー協業型」の2枠で実証プロジェクトを公募し、下記4件の支援を行いました。

区分	取組企業名	実証プロジェクト名称
地域課題解決型	(株)ミライエ	路上下水道施設異常通報システム
地域課題解決型	(株)ミライトワンと バルス(株)の連携体	MaBeeeML冠水センサシステム
地域課題解決型	(株)プライムバリュー	B-orderを活用した備蓄品、避難所管理の 防災DX検証プロジェクト
スポンサー協業型	(株)ヨクト	「Pifaa」×「yoctoMat」IoT技術を活用したヨガ・フィットネス

- 浜松市内でのハッカソン、データ連携基盤のオンライン研修、創出されたプロトタイプの継続支援等を組み合わせたサービス開発実践プログラム「データ・フュージョン・キャンプ2023」を実施しました。

## データ連携基盤活用サービス実装支援補助金

- 下記3者に補助金を交付し、データ連携基盤を活用したサービスの地域実装に向けた取組を支援しました。

採択企業名	補助事業名称
(株)JX通信社	浜松市データ連携基盤を活用した浜松市内における交通事故・浸水冠水被害の可視化事業
(株)GreatValue	住民同士の助け合い「浜松ヒーローズ」
ユニソック合同会社	AVS (Active Volunteer System)

# (1) 令和5年度の取組について

## ④ Well-Being指標活用

---

# Well-Being指標の活用

## はままつWell-Beingアワード

企業や団体のWell-Beingに関する取組を顕彰し、もって企業や団体の取組を促進することで、浜松市民の幸福感向上を図ることを目的とする。

- はままつWell-Beingデザイン賞（4件）
- はままつWell-Beingインパクト賞（2件）

- 募集期間 令和5年7月7日（金）～令和5年9月1日（金）
- 表彰式 令和5年10月11日（水）



## Well-Being人材育成プログラム（OASIS）

Well-Beingの概念や指標の測定方法を理解し、主観・客観の両データを活用することで、市民の幸福感や暮らしやすさの実感を高めるための政策をデザインできる人材を育成する。

- 講師 浜松市フェロー 南雲岳彦氏

### ■ プログラム構成

- 第1回： 5月22日（月）
- 第2回： 7月 3日（月）
- 第3回： 7月24日（月）
- 第4回： 8月21日（月）
- 第5回： 9月25日（月）
- 第6回： 10月10日（火）
- 市長報告会： 10月23日（月）

### ■ R5参加者（下記の所属長）

- ・ 企画課 ・ デジタル・スマートシティ推進課 ・ 財政課
- ・ 市民協働・地域政策課 ・ 高齢者福祉課
- ・ 次世代育成課 ・ スタートアップ推進課 ・ 交通政策課
- ・ カーボンニュートラル推進事業本部 ・ ウェルネス推進事業本部
- ・ 天竜区区振興課 ・ 教育総務課

# Well-Being指標の活用

来年度は、人口減少対策の  
柱の一つである  
「子育て分野」を対象に  
OASIS研修を実施予定



新たな取組として下記を実施

①市民向けの出前講座

②大学生・高校生を対象としたワークショップ

市民の皆さんとともにまちづくりを考える機会を創出する

浜松市公式note（Well-Beingアワード）

リンク：<https://hamamatsu-city.note.jp/n/nd86edf121f5f>

浜松市ホームページ（地域幸福度（Well-Being）指標の活用について）

リンク：<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/dsc/well-being.html>

# (1) 令和5年度の取組について

## ⑤ ソリューションピッチ&ミートアップイベント

# Solution Pitch&Meetup Event



- ・ **開催時期** : 9月7日(木) 15:00~17:00
- ・ **開催場所** : クリエイト浜松2F ホール
- ・ **テーマ** : A 医療・健康・福祉・教育・子育て  
B 防災・安全安心・モビリティ・インフラ管理  
C 産業・農林業・環境・カーボンニュートラル  
D その他
- ・ **参加人数** : 63名 (庁内各課 : 28名 官民連携PF会員 : 35名)  
※登壇有19名、登壇無16名

## イベントプログラム :

15:00~15:03	【開会挨拶】	デジスマ部長 水谷
15:03~15:10	【インプット】	浜松市フェロー 東氏
15:10~16:00	【ピッチ】	9企業登壇
16:00~17:00	【交流会】	

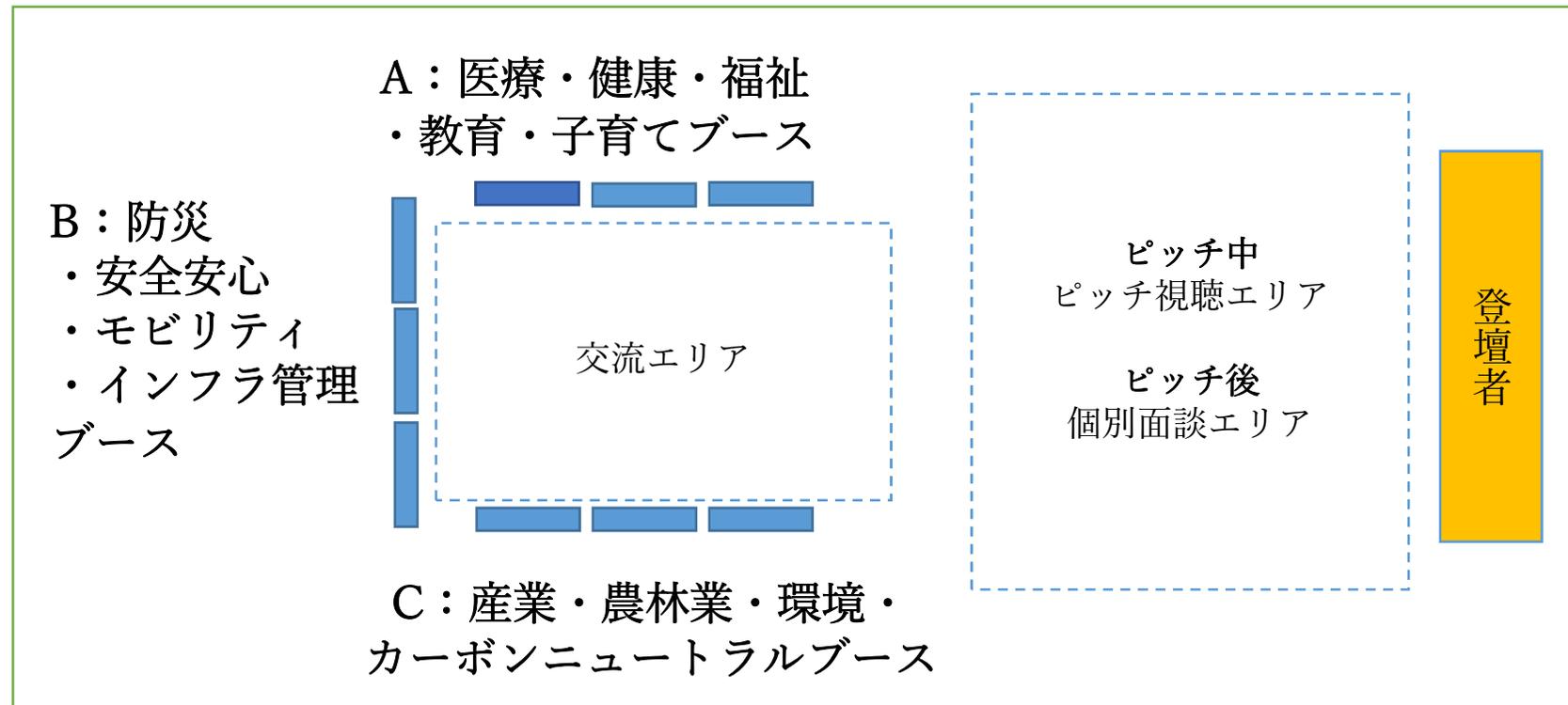
### 【良かった点】

- ・ 話したかった事業者と繋がることできた。
- ・ 対面でのイベントは顔の見える関係づくりができてよい。
- ・ ソリューションに対してリアクションが見れてよかった。

### 【改善点】

- ・ 会場の中で誰がどこにいるかわかりにくい。
- ・ 関係分野の相手が無く、話せず終わった。
- ・ 専門用語が多く案内がわかりにくかった。

# Solution Pitch & Meetup Event 会場レイアウト



# (1) 令和5年度の取組について

## ⑥官民共創型のまちづくりに向けた ソーシャル インパクト ファイナンスに関する勉強会

# 背景・目的

## (1) 背景

- 健康・医療や介護分野を中心に、官民連携の手法としてPFS（成果連動型民間委託）が活用されている。一方、SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）の活用は、限定的。
- 地域の金融機関において、SDGs・ESG 経営支援の文脈でPIFが活用されている。
- デジタル・スマートシティ政策は、官民共創型のまちづくりとして推進されている。
- 国は、デジタル田園都市国家構想の中で、共助型社会の構築を目指している。
- デジタル田園都市国家構想推進の一環として、地域幸福度（Well-Being）指標活用の取組が進んでおり、Well-Being向上のインパクト評価への指標の活用が期待される。

## (2) 目的

上記の背景を基に、今後、地域のWell-Being向上や人口減少下の持続可能なまちづくりに向け、官民共創をファイナンス面で支える仕組みを検討するため勉強会を開催する。

## (1) 実施の座組

主催：浜松市（デジタル・スマートシティ推進課）  
共催：浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム  
※浜松市フェロー 南雲氏や東洋大学 藤木先生等の協力の下、実施

## (2) 開催スキーム

下記勉強会をオンラインにて開催。

### ①金融機関を対象とした勉強会

対 象：静岡銀行、浜松いわた信用金庫、遠州信用金庫  
主な内容：PIF（ポジティブ・インパクト・ファイナンス）、  
地域インパクトとWell-Being指標活用等  
開催時期：2024年5月14日（火）10：00-11：30 （オンライン開催）

### ②自治体を対象とした勉強会

対 象：浜松市の関係部署  
※OASIS実施自治体にも声掛け  
主な内容：PFS・SIB、地域インパクトとWell-Being指標活用等  
開催時期：2024年5月 8日（水）14：00-15：30 （ハイブリッド開催）

## (2) ドローン利活用について

---

## (2) ドローン利活用について-デジタルライフライン全国総合整備計画

人流クライシス、物流クライシス、災害激甚化等の社会課題の解決			
デジタルライフライン全国総合整備計画			
<ul style="list-style-type: none"> <li>自動運転やドローン等について、「点から線・面へ」「実証から実装へ」の移行を加速させ、デジタル化された生活必需サービスを全国津々浦々に行きわたらせる</li> <li>ハード・ソフト・ルールのデジタルライフラインを整備する約10年の中長期的な実装計画を策定し、重複を排除した官民による集中的な投資を行う</li> </ul>			
デジタルライフライン（インフラ）			
ハード	<b>モビリティ・ハブ</b> ：ヒト・モノの乗換・積替等を行うハブとなる集約的な拠点（自動運転車用の駐車マス・乗降ゲート、ドローン用のバッテリー交換のための機能、通信環境等）を整備 <b>通信インフラ・情報処理基盤</b> ：サービスが途絶しないレジリエント・低遅延な通信環境（ローカル 5 G等の局所的な通信・情報処理基盤、自動運転用の周波数利用環境、携帯電話基地局、カメラ、各種センサー等の環境情報の取得機器等）を整備		
ソフト	<b>データ連携基盤</b> ：4次元時空間IDの規格を整備し、多数のシステムで分散的に空間情報を収集・統合・配信・更新する基盤等を構築（ウラノス等） 様々な人流、物流の需給を一元的に把握し、複数の企業やモビリティを横断して最適なサービスを提供する仕組みに用いるデータ連携基盤等の整備を検討		
ルール	<b>公益デジタルプラットフォームの認定制度</b> ：データ連携基盤の担い手のうち特に必要な者を「公益デジタルプラットフォーマー」として認定し、公益性を担保する仕組みを創設 <b>アジャイルガバナンス</b> ：自動運転車用レーンの交通規制（優先・専用の別含む）、AI時代の事故責任論、自動運転時に適用される各種法規制等について引き続き検討		
アーリーハーベストプロジェクト			
プロジェクト	ドローン航路	自動運転支援道	インフラ管理DX
定義・役割	ドローン飛行経路として利用可能な以下の運航環境を具備 (1) 上空飛行について地域の理解醸成が進んでいる空域 (2) 規格化された地上環境（立入管理措置等） (3) 整備された上空環境（通信環境等） (4) 航路情報を取得可能な環境（地物、気象情報等）	自動運転走行の安全性を高める運行環境の提供や、運行リードタイムを低減する仕組みに加えて、走行データの共有やヒヤリハット情報の蓄積を行い、開発を加速するためのテスト走行が可能な道路	社会インフラ設備（電力・ガス・通信・上下水道等）などの情報を3D化、空間IDを用いて相互に共有することで、 (1) 平時における業務の共通化・自動化やリソースの最適活用、 (2) 有事におけるライフラインの応急復旧・早期回復を実現するシステム
先行地域	送電網：埼玉県 秩父地域 河川：静岡県 浜松市（天竜川水系）	高速道路：新東名高速道路 駿河湾沼津SA～浜松SA間 東北自動車道 6車線区間の一部 一般道：茨城県 日立市（大甕駅周辺）	埼玉県 さいたま市、東京都 八王子市
24年度に必要な設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急着陸ポイント</li> <li>第三者が立ち入る兆候を確認できるカメラ等の設置又は周知看板等の物理的な目印</li> <li>気象プローブ 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>車両検知センサーやカメラ</li> <li>安全かつ円滑に走行するために必要な情報提供システム</li> <li>自己位置特定精度向上のための環境整備</li> <li>安定した通信環境 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ主権やアクセス権が確保された事業者間の業務共通機能に必要なデータセット 等</li> </ul>
各種データ連携基盤			

# (2) ドローン利活用について-デジタルライフライン全国総合整備計画



**【デジタルライフライン全国総合整備計画\*】 デジタルの力で、10年後の日本の社会を変革**  
人口減少が進む中でも、**デジタル技術を活用することにより、生活必需サービスを維持し、国民生活を支える**

バラバラになりがちな  
各省庁や企業の取組に横串を刺す

ハード・ソフト・ルールのインフラを  
三位一体で整備する

「点の実証」から  
「線・面での実装」へ

(※) デジタル時代の社会インフラである「デジタルライフライン」を整備する。約10か年の中長期的な実装計画。

**【アーリーハーフプロジェクト】 3つの分野で先行的な取組を開始し、変革の第一歩を目に見える形で示す**

～人手不足でも人・物の移動を止めない～  
デジタル情報配信道の設定



新東名高速道路 駿河湾沼津-浜松間  
約**100km**等  
✓ 道路・車の高度な連携で、自動運転トラック・自動運転移動サービスを社会実装。  
✓ 労働力不足で荷物が届かなくなる、移動手段がなくなる、などの社会システムの崩壊を防ぐ。

共通基盤に基づいた空間情報提供システム等

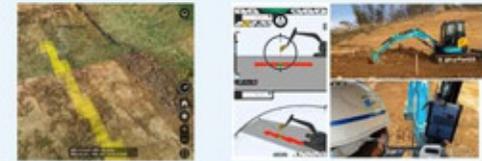
～点検や物流の変革、災害時の緊急対応に～  
ドローン航路の整備



埼玉県秩父エリアの送電網  
約**150km**等  
✓ 人手不足に悩む点検や物流業務を、ドローンの安全・高速な自動・自律飛行で解決。  
✓ 道路が寸断されるなどの緊急災害時にも即座に対応。

共通基盤に基づいた航路情報提供システム等

～省人化や効率化、迅速な災害復旧に～  
インフラ管理のDX



さいたま市、八王子市等の都市  
約**200km<sup>2</sup>**以上等  
✓ 通信、電力、ガス、水道等、地下のインフラ設備のデジタル地図を整備。  
✓ 老朽インフラの迅速な更新に貢献。  
✓ 点検・工事に関わる人員を省人化。

共通基盤に基づいたデジタル地図等

### 分野を横断して下支える共通基盤の例：空間ID

- ✓ 異なる基準の空間情報を統合・単純化し、機械の高速処理を実現。
- ✓ 地理空間情報活用推進会議等において、関係省庁の取組と連携。
- ✓ DADCにおいてシステム全体の見取り図（アーキテクチャ）を設計し、それを踏まえて民間事業者等がシステム開発を実施。

**各省庁・企業・自治体の取組に横串を刺し、社会実装を強力に推進**



DADC\*で規格や仕様を定めることで、各省庁・企業・自治体が連携しやすい環境を整える。

(※) DADC：独立行政法人 情報処理推進機構に設置されたデジタルアーキテクチャ・デザインセンター

# (2) ドローン利活用について-デジタルライフライン全国総合整備計画



**デジタル田园都市国家構想実現会議**  
 議長：内閣総理大臣 副議長：デジタル田园都市国家構想担当大臣、デジタル大臣、内閣官房長官 構成員：関係府省の大臣等

**デジタル社会推進会議**  
 議長：内閣総理大臣 副議長：内閣官房長官、デジタル大臣、構成員：各府省の大臣等（全閣僚）

報告

報告

**デジタルライフライン全国総合整備実現会議**

議長 経済産業大臣

**構成員（関係府庁等）**

- 内閣官房 デジタル田园都市国家構想実現会議事務局次長
- 警察庁 交通局長
- デジタル庁 統括官（国民向けサービスグループ長）
- 総務省 官房総括審議官（情報通信担当）、総合通信基盤局長
- 厚生労働省 労働基準局長
- 農林水産省 農村振興局長、農林水産技術会議事務局次長
- 経済産業省 商務情報政策局長（議長代理）
- 製造産業局長、商務・サービスグループ審議官
- 国土交通省 公共交通・物流政策審議官、国土政策局長、都市局長、道路局長、自動車局長、航空局長、水管理・国土保全局長
- 独立行政法人情報処理推進機構 理事長 ※省庁は建制順

**構成員（有識者）**

- 石田 車生 筑波大学 名誉教授
- 金泉 俊輔 株式会社NewsPicks Studios 代表取締役CEO
- 金子 禎則 東京電力パワーグリッド株式会社 代表取締役社長
- 甲田 恵子 株式会社AsMama 代表取締役社長
- 小室 俊二 中日本高速道路株式会社 代表取締役社長
- 島田 明 日本電信電話株式会社 代表取締役社長
- 中嶋 裕樹 トヨタ自動車株式会社 取締役 副社長
- 馳 浩 石川県 知事
- 増田 寛也 日本郵政株式会社 取締役兼代表執行役社長
- 松本 順 株式会社みちのりホールディングス 代表取締役グループCEO
- 三木谷 浩史 楽天グループ株式会社 代表取締役会長兼社長/一般社団法人新経済連盟 代表理事
- 宮川 潤一 ソフトバンク株式会社 代表取締役社長執行役員兼CEO
- 本村 正秀 佐川急便株式会社 代表取締役社長

※五十音順・敬称略

**事務局**

経済産業省 商務情報政策局

独立行政法人情報処理推進機構  
デジタルアーキテクチャ・デザインセンター（DADC）

デジタル庁 国民向けサービスグループ

第1回 6月28日開催  
第2回 9月15日開催



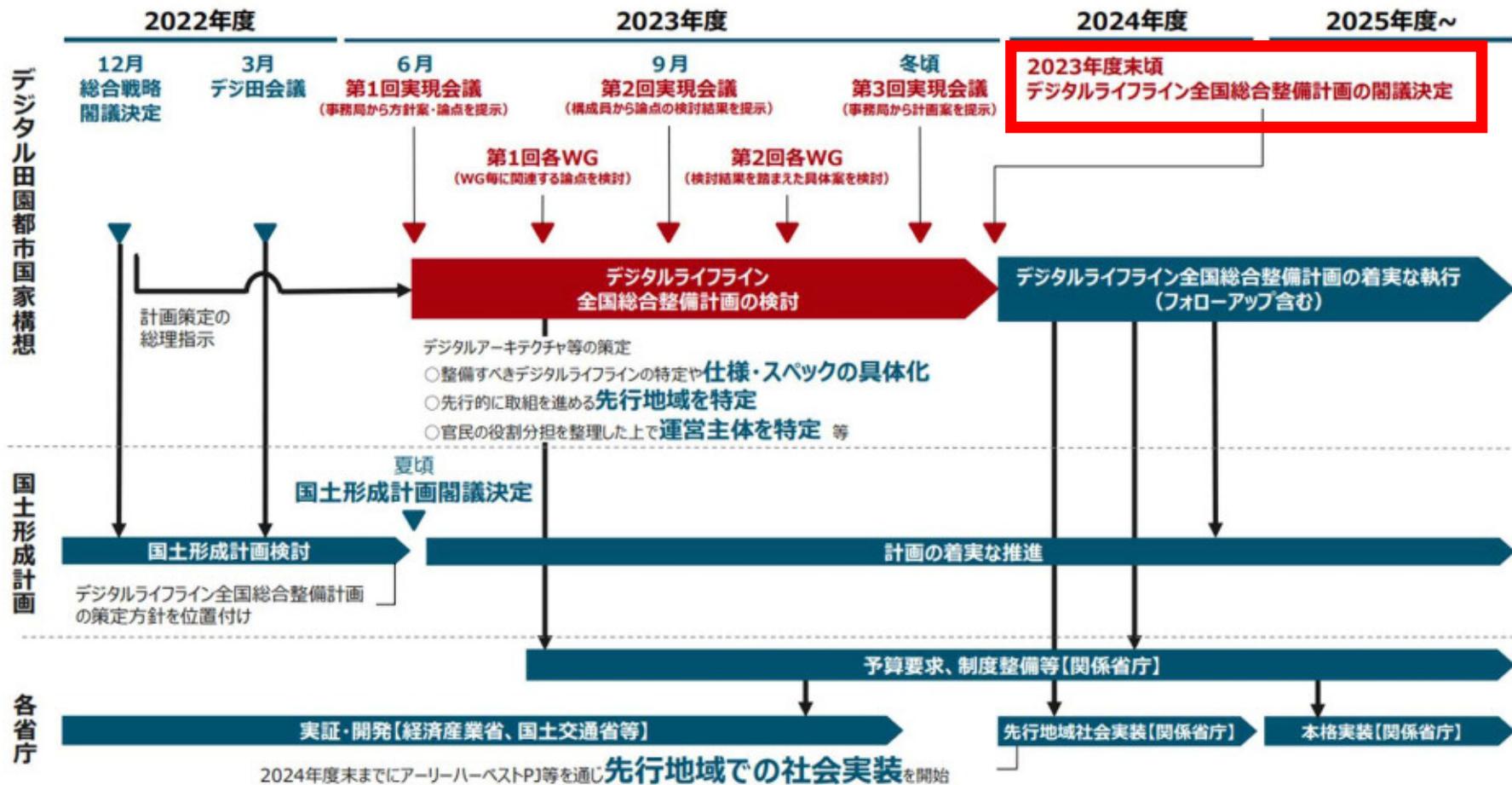
※当面は、アーリーハーベストプロジェクト、横断領域のアーキテクチャ及びスタートアップに関するWGを設置

**空間情報基盤アーキテクチャ検討会**  
 （事務局：経済産業省、独立行政法人情報処理推進機構デジタルアーキテクチャ・デザインセンター（DADC））

## (2) ドローン利活用について-デジタルライフライン全国総合整備計画



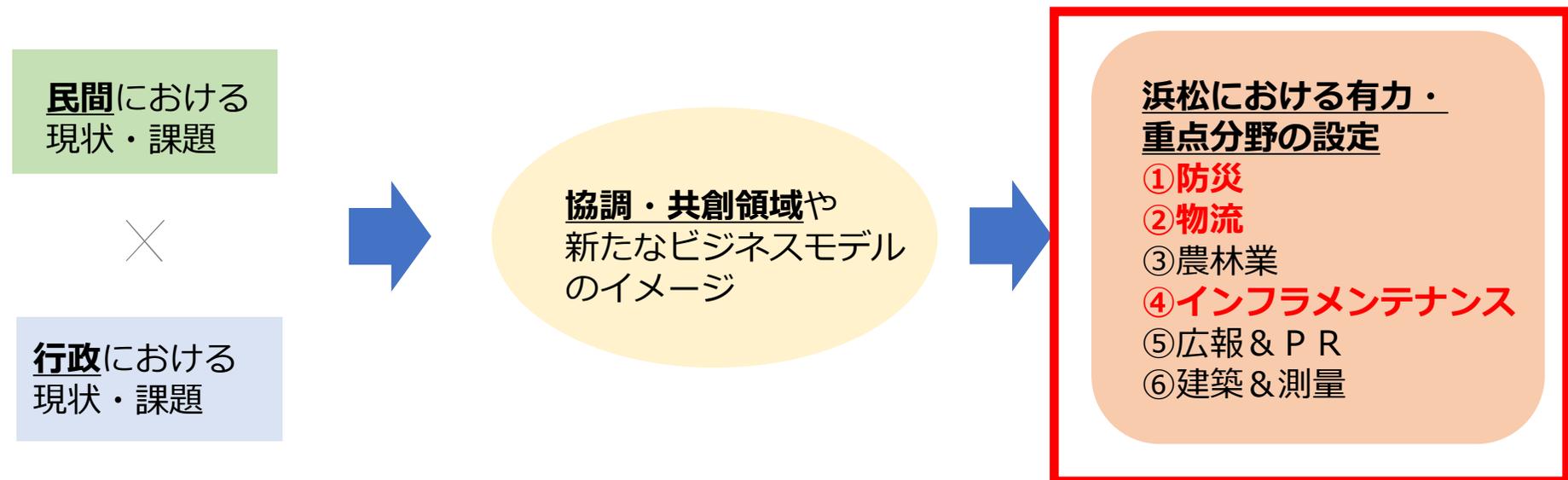
### スケジュール



## (2) ドローン利活用について-令和4年度 ドローンに関する意見交換会 報告書

### ■ 意見交換会の目的

浜松市モビリティサービス推進コンソーシアムにおけるドローンに関する意見交換会を通じ、ドローン市場の可能性や官民の各分野における取組の現状と課題、浜松における有力・重点分野等を整理し、協調・共創領域に官民で取り組むことを確認（令和4年6月～12月の間、計4回開催）



詳細：令和4年度 ドローンに関する意見交換会 報告書

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/documents/90341/230322drone.pdf>

## (2) ドローン利活用について-ドローン利活用推進部会の設置

### ■ 設置の目的

国の計画等を追い風に、本市におけるドローン利活用の取組を官民連携でより一層推進し、社会実装を目指す。

### ■ 活動の内容

- ・ドローン利活用に関する情報交換（国や市場の動向、会員の取組等）
  - ・会員による取組や連携促進 等
- ※年3回程度の開催、Slack等での情報・意見交換  
※実装を目指すプロジェクトの可視化

### ■ 主催

#### モビリティサービス推進コンソーシアム

共同幹事：遠州鉄道株式会社、スズキ株式会社、浜松市  
(事務局：浜松市デジタル・スマートシティ推進課)

## (2) ドローン利活用について-ドローン利活用推進部会の設置

### ■ 部会員

22団体 (1/15時点)

- 株式会社オオタカ
- エアロセンス株式会社
- HMK Nexus株式会社
- 株式会社NH研究所
- 三信建材工業株式会社
- 株式会社スカイピーク
- 株式会社スカイワード・オブ・モビリティーズ
- セイノーホールディングス株式会社
- 中部電力パワーグリッド(株) 浜松営業所
- Terra Drone株式会社
- 東京海上日動火災保険株式会社
- トヨタ車体株式会社
- 株式会社トラジェクトリー
- 株式会社トルビズオン
- DRONE FUND株式会社
- 株式会社ハマキョウレックス
- 株式会社フジヤマ
- 企業組合フジヤマドローン
- VFR株式会社
- 森ビル株式会社
- ヤマハ発動機株式会社
- やまびこドローン (榊原商店)

## (2) ドローン利活用について-ドローン利活用推進部会の設置

### ■ オブザーバー 18団体 (1/15時点)

- 総務省 総合通信基盤局 移動通信課
- **経済産業省 商務情報政策局 情報経済課アーキテクチャ戦略企画室**
- // 製造産業局 航空機武器宇宙産業課 次世代空モビリティ政策室
- 国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 河川保全企画室
- // 物流・自動車局 物流政策課
- // 航空局 安全部 無人航空機安全課
- // 航空局 安全部 安全企画室
- // 航空局 交通管制部 マルチ航空モビリティ交通管制調整室
- // 中部地方整備局 浜松河川国道事務所
- **独立行政法人 情報処理推進機構 デジタルアーキテクチャ・デザインセンター (DADC)**
- 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 IoT推進部
- // ロボット・AI部
- 静岡県 デジタル戦略局
- 静岡大学 土木情報学研究所
- 日本郵便株式会社 郵便・物流オペレーション改革部
- 秩父市役所
- 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 情報・人間工学領域デジタルアーキテクチャ研究センター
- 朝日航洋株式会社

## (2) ドローン利活用について-【参考】庁内ワーキンググループ

### ■ 構成課

- 危機管理監 危機管理課
- 財務部 技術監理課
- 産業部 産業振興課
- //    スタートアップ推進課
- //    農業水産課
- //    林業振興課
- 土木部 道路企画課
- //    道路保全課
- //    河川課
- 消防局 警防課
- 上下水道部 水道工事課
- デジタル・スマートシティ推進部 デジタル・スマートシティ推進課（事務局）

# 社会背景・取組の方向性・アプローチ



## <社会背景>

- 人口減少により医療、介護、交通、物流等の生活インフラの維持が困難に
- 災害時における孤立集落などへの不安
- 高齢化による免許返納の増加・足の確保の需要の拡大、社会保障の増加
- インフラ老朽化による維持コストの増加
- デジタル化の急速な進展や官民連携の活発化



もちのき診療所（春野町）  
R6.4～：週1回の診察に



静岡新聞2024.01.10

## <取組の方向性>

- 自然が豊かでWell-Beingに溢れる持続可能な生活の実現
- 共助による平時の生活インフラの維持とデュアルモードによる災害時に強いレジリエントな地域づくり
- デジタルやモビリティの活用による便利な生活と自立と繋がりを感じる「田舎暮らし2.0」

## <アプローチ>

- 全体の土台となるデジタルインフラのドローン航路の構築等にかかる取組を着実に進める
- 登る山（方向性）は共有しつつ、熱量の高い分野からアジャイルかつ柔軟に進める
- 小さく始め、大きく育てる（まずはやって見せて中心の輪を広げつつ大きな取組に）
- 現場主義の徹底による課題の解像度を高めることとアーキテクチャの観点からの抽象化を両輪に
- 民間活力や地域力の最大化と地域のプラットフォーム化

Well-Being

自然が豊かでWell-Beingに溢れる持続可能な生活

方向性  
サービス

- ：導入済み

安全・安心

- 遠隔診療・服薬指導
- コミュニティナース
- ドローンによる薬剤配送
- ローリングストック
- 災害時のドローンによる状況把握・物資配送
- ドローンを活用した河川等インフラ巡視・点検

自立と繋がり

- 移動販売
- モビハブ・コミュハブの活用
- 共助による交通（NPOタクシーや介護車両等）

便利・ワクワク

- 移動販売
- オンラインショッピングの利用拡大
- スマホ等デジタル活用支援
- モビハブ・コミュハブの活用

インフラ

デジタルライフラインの整備や協調領域の構築

ドローン航路・電波・モビリティハブ等

## (2) ドローン利活用について-ドローン航路の構築とユースケース



- ・ 平時にドローン航路を構築、利用することで災害時も速やかに対応
- ・ 人口減少下において協調領域を構築することで生活サービスを維持
- ・ ドローンやAI等の活用によりインフラ管理を効率化、高度化

# (2) ドローン利活用について-ドローン航路の構築とユースケース



## 部会員の取組検討状況



水窪：千寿会

佐久間：佐久間病院

春野：光久会

二俣：天竜厚生会

ドローンによる  
撮影データ利活用



ドローンによる  
河川巡視



ドローンによる  
緊急的情况把握



## (2) ドローン利活用について-ドローン航路の構築とユースケース

### 部会員の取組検討状況：航路構築

全域



各地域内の例：春野



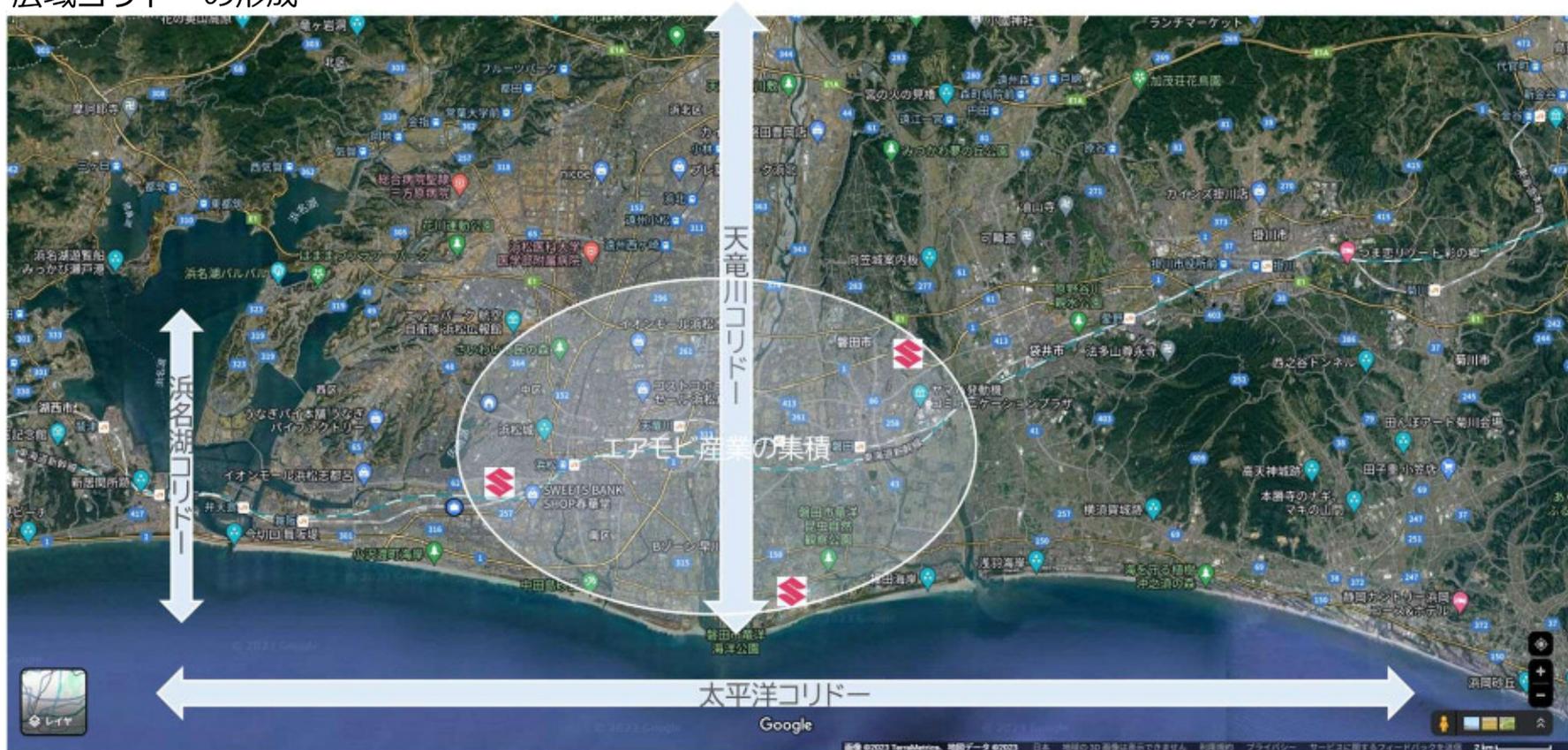
## (2) ドローン利活用について-ドローン産業の集積 エコシステム



出典：第1回ドローン利活用推進部会 スズキ(株)発表資料

## (2) ドローン利活用について-ドローン産業の集積 エコシステム

### 広域コリドーの形成



出典：第1回ドローン利活用推進部会 スズキ(株)発表資料

## (3) 大学・高校との連携

---

# デジタル・スマートシティ推進における大学や高校等との連携強化

デジタル・スマートシティの推進における若者の参加促進に向け大学や高校等との連携強化を図る

## 連携用Slackチャンネル

各学校の取組やイベントの可視化や連携を目的に「連携用Slackチャンネル」を開設。官民連携PF会員のうち静岡大学情報学部、浜松聖星高等学校が参加



官民連携PF

フィールド提供  
企業・団体との連携



取組共有



大学や高校等

## 浜松市Decidimの活用

イベントのアーカイブをDecidimで公開し、  
企業や各種団体との連携を促進

▶ 今後は、既存のイベントや大学生・高校生との  
「Well-Beingワークショップ」を掲載予定



静岡大学アイデアソン・データソン2023

## (4) 新フェローの委嘱について

# 令和6年1月30日、フェロー委嘱書交付

## シスコシステムズ合同会社 執行役員 人事本部長 宮川 愛 氏

### ● テレワーク導入をはじめとした働き方改革の推進強化

テレワーク導入をはじめとした働き方改革を一層推進し、生産性の向上と職員のWell-Being向上の好循環を創出するとともに、社会経済情勢の変化に対応した魅力的で選ばれる組織を目指す。また、市役所が率先して働きやすい職場環境を整備することで、仕事と子育て・看護・介護等ライフイベントとの両立を含めた「働きやすい街」を目指す。



## 株式会社 HEART CATCH 代表取締役 西村 真里子 氏

(内閣府オープンイノベーション大賞専門委員会委員、武蔵野美術大学大学院 非常勤講師)

### ● デジタル・スマートシティにおける若者との連携や共創の推進強化

デジタル・スマートシティの推進にあたり、次代を担う若者との連携や、官民や民民の共創の推進を強化する。



## (5) 来年度のスケジュール

---

# 令和6年度の取組予定

項目	2024年度												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
I デジタル・スマートシティ	官民連携PF運営委員会 会員との連携		●第1回運営委員会		●第2回運営委員会			●第3回運営委員会●			●第4回運営委員会●		
		●学校への会員派遣制度											
	官民連携PF ピッチ・ウェビナー				●ウェビナーⅠ		●ソリューションピッチ			●ウェビナーⅡ	●ウェビナーⅢ		
	データ連携基盤 運用機能追加	●浜松市データ連携基盤の運用・機能追加											
	データ連携基盤の 活用促進			参加募集	●市内課題等に対するデータ連携基盤を活用したソリューションの募集・審査・採択案件の検証支援							▲成果発表会	
		事業公募	審査	●補助事業の実施期間									
	MONTH事業	Well-Beingアワード		冠事業募集	選定	周知	マンズ	●オンラインフォーラム					
				募集	選考		●結果発表・表彰式						
地域共助型 デジタル技術 活用支援事業	●水窪地域：R4,5に育成した相談人材を活用した相談会の開催												
	●春野・佐久間地域：R5に育成した相談人材のさらなる育成												
	●龍山地域：新たな相談人材の候補選出						●龍山地域：新たな相談人材の育成						
庁内連携		★第1回本部会議				★第2回WG		★第2回本部会議			★第3回本部会議		
		★第1回WG						★第3回WG		★第4回WG			
OASIS (Well-Beingに基づく 政策デザイン研修)		★第1回講義	★第2回講義	★第3回講義	★第4回講義	★第5回講義	★第6回講義	★市長報告会					
II MaaS	モビリティサービス 推進コンソーシアム		●第1回会議			●第2回会議		●第3回会議			●第4回会議		
						●オンラインセミナー	●ワークショップ						
ドローン利活用 推進部会			●第1回部会			●第2回部会				●第3回部会			
	●部会員によるユースケースづくりへの支援												

# 令和6年度の取組予定

項目		2024年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
Ⅲ デジタル・ガバメント	フロントヤード・バックヤード改革	行政手続きのオンライン利用率・満足度の向上											
		キャッシュレス決済の運用											
		書かない窓口システム運用・アジャイル改善											
		窓口DXプロジェクトチームの発足、継続的な改善の取り組みと拡大の検討											
	庁内データ分析基盤	庁内データ分析基盤構築の構築										運用	
		データ利活用・分析人材育成											
	デジタルを活用した業務改革	重点取組業務の選定・改革											
各所属における業務改革（重点取組業務以外の業務）													
DX人材育成・活用	DXメンター育成・活用												
AI等先進技術活用	AI議事録の運用、生成AIの活用等												
テレワーク等働き方改革の推進	LTEモデルChromebookを活用したテレワークの実証実験												
Ⅳ デジタル・マーケティング	相談支援	月1の定例相談会											
	人材育成	★合同説明会			★第1回ワークショップ				★第2回ワークショップ				★セミナー

## 条例・各種計画

- ・浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例
- ・浜松市デジタル・スマートシティ構想
- ・浜松市版MaaS構想
- ・浜松市デジタル・マーケティング戦略
- ・浜松市DX推進計画

# 3 意見交換

# (1) デジタル・スマートシティ構想 第1期総括及び第2期に向けて

---

# (1) デジタル・スマートシティ構想 第1期総括及び第2期に向けて

## ① 白坂フェロー講演（動画）

# (1) デジタル・スマートシティ構想 第1期総括及び第2期に向けて

## ② デジタル・スマートシティ構想の改定について

# 構想の改定スケジュール

年度		R5		R6												R7		
		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4		
各会議	市議会				● ・スケジュール ・2構想 第1期総括 ・DX推進計画総括								● ・案報告					
	PTC運営委員会		● ・構想第1期総括や第2期に向けた展望		● ・構想 2期重点分野				● ・素案			● ・案報告				○		
	推進本部会議	● ・改定方針とスケジュール ・構想第1期総括			● ・2構想 第2期重点分野 ・次期DX推進計画 取組骨子案							● ・案報告			○			
デジスマ構想		第2期素案の作成			最終案の作成						印刷デザイン他				施行			
		●フェロー意見聴取 ・今後の展望等																

## 【成果】

- デジタル・スマートシティ推進の基盤となる条例等制定
  - ・ 浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例
  - ・ 浜松市デジタル・スマートシティ構想
  - ・ 浜松市DX推進計画
  
- 官民連携の推進体制の構築及び会員の拡大  
浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム
  
- データ連携基盤の活用における実証から実装への仕組みづくり  
ORI-project > 実装支援補助金 > トライアル発注
  
- デジタル・ガバメントや安全・安心、教育・子育て等各分野におけるデジタル活用の取組の推進

# 第1期の「課題・伸びしろ」 ※フェローへのヒアリングを基に作成



## 市民への政策浸透や社会参加促進

- ・構想が市民にとってより身近なものとなるように、目標や取組内容、効果などを、より分かりやすく伝えられるとよい。
- ・データ利活用をはじめ、市民が自発的によりよりよいまちにしていくことに一層関わっていけるとよい。例えば、小学生がデータを使っていけるようになれば親も必然と関わるようになる。

## 浜松市の強み・特徴の活用

- ・ユネスコ創造都市（音楽分野）や多文化共生の取組など、国際的な浜松の強みや特徴について、デジタル・スマートシティの推進においてももっと活用の余地がある。

## データ連携基盤

- ・共創の基盤とするにはまだ日本のマーケットサイズが小さく、民間企業にとり参入意欲が高まるような環境にまで至っていない。
- ・日本においてデータ連携基盤に関しては、持続可能なエコシステム形成に向け、次のステップを考える時期にきている。

## その他

- ・各分野の取組が進んできたため、今後、より一層分野間連携が進むとよい。
- ・次のフェーズでは、実証実験から実装の取組をより増やしていけるとよい。
- ・将来像、ビジョンからブレイクダウンし、評価していけるようにしていくとよい。

# 浜松市デジタル・スマートシティ構想

## 将来像

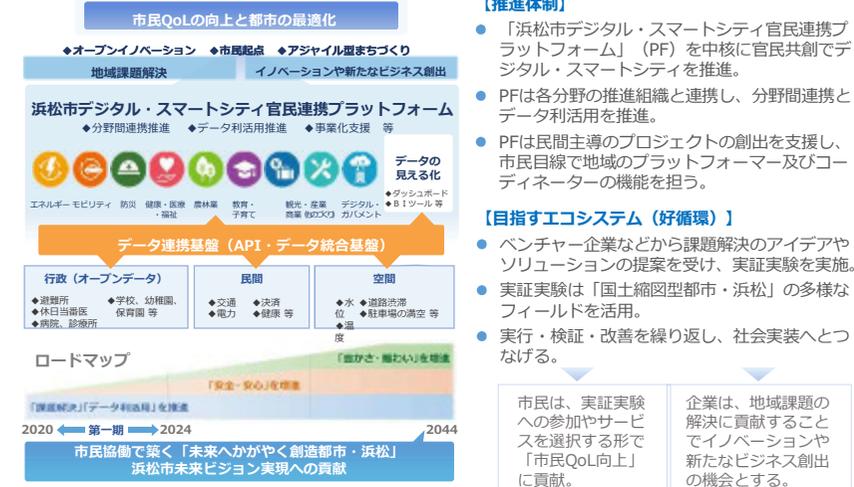
### ～ デジタルで“繋がる未来”を共創～

人口減少・少子高齢化やインフラ老朽化、コロナ禍の状況においてデジタルの力を最大限に活用し、「市民QoL(生活の質)の向上」と「都市の最適化」を目指し、デジタルで“繋がる未来”を官民で共創します。



## 推進体制とエコシステム(好循環)

官民共創によるまちづくりを進め、「地域課題の解決」と「イノベーションや新たなビジネスを創出」するエコシステム(好循環)を形成します。



## デジタルで“繋がる未来”の概観

デジタルの力を最大限に活用し、「課題解決型のアプローチ」と「未来に夢と希望を持てるチャレンジ」を組み合わせることで、ヒト・モノ・コトを繋ぎ、“繋がる未来”を創造します。



### デジタルで“繋がる未来”のキーワード

- 人と人が繋がる(リモートでの見守りや面会、相談、帰省等)
- 社会と繋がる(高齢者や障がい者、外国人、女性等の社会参加をサポート)
- サービスが繋がる(遠隔教育、遠隔医療、遠隔鑑賞等)
- 都市部と地方が繋がる(リモートワークや多拠点居住の促進)

## ■ 目指す方向性（基本理念）

「市民のQoL（生活の質）の向上」



「Well-Beingの向上」

## ■ 推進体制とエコシステム（好循環）

・ 人口減少下において、生活関連サービスの維持や企業の競争力強化の観点から、協調領域の構築や共助のアプローチについて追記

・ 国土縮図型のフィールドを最大限に活用し、新たなサービスの創出や人材育成などに生かす観点をより強調

**将来像**  
～ デジタルで“繋がる未来”を共創 ～

人口減少・少子高齢化やインフラ老朽化、コロナ禍の状況においてデジタルの力を最大限に活用し、「市民QoL（生活の質）の向上」と「都市の最適化」を目指し、デジタルで“繋がる未来”を市民で共創します。

**目指す方向性（基本理念）**  
「市民QoL（生活の質）の向上」と「都市の最適化」

必要な視点1	必要な視点2	必要な視点3
<b>オープン/イノベーション</b> イノベーションの創出に向け、産官学研連携を促した共創のまちづくりを推進。	<b>市民起点/サービスデザイン思考</b> デジタルは、「市民QoLの向上」、「都市の最適化」のための手段と捉え、「市民視点」のまちづくりを推進。	<b>アジャイル型まちづくり</b> スモールスタートでデジタル化し、トライ＆エラーを繰り返しながら、変化に強いまちづくりを推進。

**推進体制とエコシステム（好循環）**  
市民共創によるまちづくりを推進。「地域課題の解決」と「イノベーションや新たなビジネスを創出」するエコシステム（好循環）を形成します。

**【推進体制】**

- 「浜北市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム」(PF) を中核に官民共創でデジタル・スマートシティを推進。
- PFは各分野の推進組織と連携し、分野間連携とデータ活用を推進。
- PFは民間主導のプロジェクトの創出を支援し、市民共創で地域のプラットフォーム及びコーディネーターの機能を担う。

**【目指すエコシステム（好循環）】**

- ベンチャー企業などから課題解決のアイデアやソリューションの提案を受け、実証実験を実施。
- 実証実験は「国土縮図型都市・浜北」の多様なフィールドを活用。
- 実行・検証・改善を繰り返して、社会実装へとつながる。

市民は、実証実験への参加やサービスを選択する形で「市民QoL向上」に貢献。

企業は、地域課題の解決に貢献することでイノベーションや新たなビジネス創出の機会とする。

# 浜松市デジタル・スマートシティ構想 第一期（2020年度～2024年度）における重点取組分野

2020年度から2024年度の5年間で第一期と位置づけ、①本市の強みを活かした取組、②ウィズコロナ、ポストコロナのニューノーマルや安全・安心への対応、③課題解決型アプローチによる持続可能で包摂的な社会の構築に向けた取組、④推進基盤の構築や強化に重点的に取り組みます。

## ① 浜松の強みを唯一無二のものに

### ウエルネス

- 「予防・健康都市浜松」実現に向けた官民連携
- 健康情報を活用した生活習慣病等の予防・改善
- 介護ロボット等の活用による介護従事者の負担軽減
- AI等を活用した健診（検診）の受診率向上

### 音楽文化・エンターテインメント

- デジタル技術を活用した文化事業の実施
- ニューノーマル時代のエンターテインメントの新たな楽しみ方の創出と普及
- インターネットを活用した音楽文化等の発信とリモートによる国際交流の推進

### 産業（ものづくり・農林業）

- 国土縮図型都市・浜松のフィールドを活用した新たなサービスやソリューションの創出
- サテライトオフィス等を活用したベンチャー企業等の誘致
- 先端技術を活用するスマート農林業の推進
- 中小企業の生産性向上に向けたIT（情報技術）・IoT等の活用支援

### 観光・商業

- デジタル・マーケティングの活用による情報発信
- 新しい生活様式に即した観光の活性化と賑わいの創出
- 関係人口の拡大や多拠点居住の促進
- デジタル活用による移住・定住・交流の促進
- キャッシュレスの推進
- デジタルを活用したインセンティブ（報奨、奨励）付与による誘客や消費活性化の研究

## ② 浜松らしいニューノーマル社会の実現を目指して

### リモートワーク・多拠点居住

- 関係人口の拡大や多拠点居住の促進
- デジタル活用による移住・定住・交流の促進
- リモートワークやテレワークの推進
- テレワークパーク構想の推進
- 副業・兼業人材の活用促進

### 見守り・災害対応

- IoT等を活用した高齢者や子どもの見守り推進
- 災害予測や災害状況の効果的な把握
- 災害関連情報の効果的な提供
- 避難所の効果的な3密対策

### 教育・子育て

- GIGAスクール構想の実現に向けた教育環境整備
- オフライン授業とオンライン授業のハイブリッド（組み合わせ）による持続可能な教育の推進
- ICT（情報通信技術）等を活用した子どもや子育て世代への効果的な情報提供や相談体制の構築

### デジタル・ガバメント（電子行政）

- 書面規制・押印・対面規制等の見直し
- 行政手続きのオンライン化やキャッシュレスの推進
- マイナンバーカードの取得促進とマイナンバーカードを活用した行政サービスの拡充
- 多様な伝達手段による情報の提供
- AIやICT等の活用による生産性の向上
- DX推進に向けた職員の人材育成

## 第一期

# デジタル・スマートシティ 浜松 の基礎固め

## ③ デジタルの力で持続的・包摂的社會を構築

### モビリティ（移動・物流）

- モビリティとサービスの連携による持続可能なまちづくりの推進
- モビリティサービス推進コンソーシアムを中核とした官民連携によるプロジェクトの創出
- 医療MaaSの推進
- フードデリバリープラットフォームの推進
- テレワークパーク構想の推進

### インフラ（社会生活基盤）

- ドローンやセンサー等の活用によるインフラの老朽化対策
- 点群データなどインフラ情報のデジタル化
- 都市のデジタル化推進におけるインフラの利活用や高度化の検討

### 社会参加促進

- AIやICT等の活用による障壁の除去
- バリアフリー情報等のオープンデータ化の促進
- 情報へのアクセシビリティの向上
- ICT技術やSNS等を活用した市民参加の促進
- シニア向けスマートフォン講座等の充実

### エネルギー・循環型社会

- 「浜松市域“RE100”」の実現に向けた推進
- スマートコミュニティ、スマートタウンのモデルの構築
- スマートプロジェクトの実現
- 新清掃工場及び新破砕処理センターをモデルとしたサーキュラーエコノミーの推進

## ④ 共創の基盤を構築しより強固なものに

### 官民共創による推進体制の強化

- 浜松市フェロー等外部人材の活用
- 官民共創によるプロジェクト創出に向けたアイデアソン等の開催
- 次代を担う若者世代の巻き込み
- 官民連携プラットフォームを活用した分野間の連携促進
- シビックテックとの連携や共創

### 人材育成

- 次代を担う若者の育成
- データ活用に関するセミナーやハッカソン等の開催
- シニア向けスマートフォン講座等の充実
- 人材育成におけるリモートやオンラインセミナー等の活用
- 人材育成における大学やCode for Japan等との連携

### データ連携基盤の整備やオープンデータの拡充

- データ流通のハブ（中継地）となるデータ連携基盤の整備と利活用
- データ連携基盤の活用事例の創出（「ORI-Project」の推進）
- オープンデータプラットフォーム(ODPF)の整備と利活用
- 点群データのオープンデータ化と利活用促進

### 通信基盤等の整備や利活用促進

- 中山間地域等への光ファイバ網の整備支援
- 5Gアンテナ基地局の設置や利活用の促進
- 各種通信（高速・低遅延）活用の事例の共有と横展開
- 活用事例の創出やニーズ喚起による各種通信インフラ整備の働きかけ

### 第1期の取組を土台とした取組全体の体系化

- ・安全・安心や健康など、生きていくうえで重要度の高い分野が土台となり、その上に心の豊かさや持続可能なまちづくりにインパクトのある分野等を位置付けていけるとよい。デジタル活用が、利便性の向上や自治体や地域の効率的な経営に寄与することは手ごたえを感じているのではないか。今後、心豊かで持続可能な地域づくりに向け取組全体を体系化できるよい。
- ・南海トラフ地震をはじめ自然災害へ対応が非常に重要となる。コロナ禍のパンデミックの際、浜松市は、デュアルモード社会の構築を進めてきた。災害においても平時と災害時のデュアルモードの推進が求められる。

### 取組の連携と次世代の社会参加促進

- ・第1期で各分野のデジタル活用が一定程度進展したことから、これらをベースに第2期では、分野間の取組の連携を一層促進し、相乗効果や付加価値を生んでいくとよい。
- ・次世代が様々な取組に関われるようにしかけるとよい。Well-Being指標を活用した教育や、エンターテインメントなど次世代の推しの文化の活用などを通じて、社会参加を促進できるとよい。
- ・次世代の社会参加の促進に向け、大学等との連携の強化も有効。

### 持続可能なまちづくりに向けた方向性

- ・人口減少下において、生活関連サービスの維持や企業の競争力強化の観点から、協調領域の構築や共助のアプローチの強化が重要となる。
- ・地域のWell-Being向上にインパクトのある取組を、ファイナンス面でも支援できる環境の強化が必要。
- ・企業や団体との共創に加え、市民との協働や次世代の巻き込みが重要。

### その他

- ・障がい者や女性、若者世代等に居心地のよい場所を創ることや、多様性と寛容性のある働き方を推進していくことが心の豊かさや地域のWell-Being向上につながる。
- ・ドローン航路構築に関連して、ドローンの利活用推進や、エアモビリティの産業集積は、浜松の強みを生かした柱となる取組になり得る。

## 第2期における重点取組分野検討の方向性

### ① Well-Being 向上や取組の体系化を意識した整理

- ・安全・安心や健康など、生きていくうえで必須となる「土台」と、心豊かな暮らしや持続可能な地域づくりに向け取り組む分野を、Well-Beingの向上を意識して体系化する。

### ② 浜松の特長を活かした取組の強化や、分野間の一層の連携

- ・音楽文化やものづくり産業、国土縮図型都市のフィールドなど、浜松の強みを一層活用していく。
- ・第1期で各分野のデジタル活用が一定程度進展したことから、これらをベースに第2期では、分野間の取組の連携を一層促進し、相乗効果や付加価値を生んでいく。

### ③ 個々の企業・団体や若者の取組を一層活発にするための環境強化

- ・ベースとなる企業・団体、若者の活動量が多いなかで、それらをより拡大するための支援（マッチングや連携促進、ファイナンス面等）の強化。
- ・教育・研究機関との連携を通じた、若者世代の巻き込みの強化。

# (1) デジタル・スマートシティ構想 第1期総括及び第2期に向けて

## ③意見交換・コメント

## (2) ウェルネスの推進について

# 予防・健幸都市の実現を目指して (ウエルネスシティ)

## 浜松ウエルネスプロジェクトの概要



浜松市

ウエルネス推進事業本部

# 1

## 浜松ウエルネスプロジェクトの背景

全国共通課題

- (1)人口減少 → 労働力の減少
- (2)超高齢社会 → 医療費など社会保障費の増
- (3)社会経済のグローバル化 → 産業競争力の低下
- (4)価値観の多様化 → QOLの追求

## 浜松ウエルネスプロジェクトの背景

浜松の強み

(1)健康寿命 日本一

※厚生労働省の研究班による大都市別調査(2016年ほか)



70歳現役都市宣言

(2)政令指定都市幸福度ランキング 第1位

※2018年版日本総合研究所調査

(3)産業力で発展



日本一の起業家応援都市宣言

(4)産学官の連携力

2

浜松ウエルネスプロジェクトとは

**健康 × 産業 = 本市の持続的発展**

市民が病気を未然に予防し、いつまでも健康で幸せに暮らすとともに、産業など地域の持続的発展を市民の健康が支える予防・健幸都市(ウエルネスシティ)



**実現のための官民連携プロジェクト**

わが国共通の課題解決のリーディングモデルになりうる取組

# 3

## 浜松ウエルネスプロジェクトの取組

### (1) 市民の健康増進（健康寿命の延伸）

公式ヘルスケアアプリ「はままつ健幸クラブ」 はままつ健幸歩き など

### (2) 地域企業の健康経営の促進

健康優良法人申請サポート ウェルネスアワード 健康経営補助金 など

### (3) ヘルスケア産業の創出

ヘルステックシンポ スタートアップ支援 共同研究・社会実証 など

# 4

## 事業方針

- (1)ロードマップに沿って、計画的に事業を推進
- (2)事業を確実に継続、拡大
- (3)新規事業展開により、取組強化
- (4)部会幹事制を本格的に機能化
- (5)参画企業・団体間の連携強化による事業化促進

# 5

## 重点事業

ヘルスケアアプリ「はままつ健幸クラブ」  
利用促進のための事業

(1)機能拡充【拡充】

(2)新たなウォークイベント開催【新規】



# はままつ健幸クラブ 2022年10月11日から運用開始!

浜松市公式ヘルスケアアプリ

浜松市

## はままつ健幸クラブ

参加者募集中!

利用料 無料

ポイントを貯めて応募すると  
**景品が当たる!**

歩いて記録して  
ポイントをゲット!

貯まったポイントで  
浜松市の特産品や  
健康関連商品などが  
当たるチャンス!

写真イメージです。景品は浜松市の特産品や健康関連商品のほか、またはAmazon・楽天市場の商品です。実際の景品の詳細はアプリにてご確認ください。

アプリのダウンロードはこちら

iPhone版

Android版

はままつ健幸クラブ

※通信料がかかります

お問い合わせ窓口

カラダライブコールセンター

0570-077-122

受付時間/平日9:00~18:00 (年末年始は除く) サービス有休日ははままつにお任せください。

## はままつ健幸クラブ

日々の健康づくりの取り組みをアプリで見える化します!

**出せ大名家康くんからのメッセージ**

あなたの日々の取り組みを励まし、応援!

**グラフ**

月間の歩数、距離、消費カロリーなどの変化を表示!

**目標設定**

歩数と体重を自分で目標設定!グラフで月間推移や目標達成度を確認!

**リアルウォーキング**

市内の各所を巡る5つのコースを表示!すべてのチェックポイントをクリアすると、ポイントを獲得!

**グラフ**

2022年10月

歩数(平均) 8,728歩

距離(平均) 6.72km

消費カロリー(平均) 138kcal

体重(平均) 56.8kg

歩行速度 120/80歩分/kg

**生活習慣チェック**

食事や睡眠など生活習慣に関する行動をチェック!

**リアルウォーキング**

コース達成で100P

**記録機能**

体重や血圧、健(検)診の記録をアプリで管理!

**ランキング**

全体、性別、グループ別、企業別のランキングを表示!

**健康イベントへの参加**

健康イベントや実証事業等の情報をいち早く配信!参加すると高ポイント獲得!

歩数(目標) 300P

体重(目標) 5P/日

詳しい情報はHPへ <https://hamamatsu.karada.live/> はままつ健幸クラブ

浜松市 浜松ウエルネスプロジェクト

浜松市ウエルネス推進事業本部 TEL 053-453-6140

## 重点事業

### 健康ビッグデータ分析【新規】

市民の健康的特徴とその要因を明確化



## 重点事業

### 地域企業の健康経営促進のための事業

- (1)健康経営促進事業費補助金【新規】
- (2)健康経営アドバイザーによる企業  
訪問・啓発【新規】



# 重点事業

## 参画企業・団体間の連携・協業促進

(1) ビジネスピッチ開催【拡充】

(2) ニーズ・シーズHP運用  
【拡充】



## 重点事業

### ウエルネスアンバサダーによる発信PR【拡充】



2024年2月16日 アンバサダー委嘱式

# 6

## 目指す成果指標

- (1) 協議会参画企業数 170社 (2024年度末)
- (2) 健幸クラブ登録者数 24,000人 (2024年度末)
- (3) 健康経営優良法人数 220社 (2025認定)

# 7

## 浜松ウエルネスプロジェクトの推進体制

### 2つの官民連携プラットフォーム

#### 浜松ウエルネス推進協議会

- <目的> 健康事業とヘルスケア産業の振興をとおして、予防・健幸都市の実現を目指す
- <活動> 参画企業間の連携・協業に向けた交流、連携事業の実施等
- <参画> 市内 約180企業・団体

# 浜松ウエルネスプロジェクトの推進体制

158社

あいおいニッセイ同和損害保険(株) (株)愛管 (株)アオイ楽器店 (株)Active アストラゼネカ(株) (株)アトランス アフラック生命保険(株)浜松支社  
(株)ALY イオンモール(株) イオンリテール(株)イオン浜松志都呂店 イオンリテール株式会社東海カンパニー (株)泉メディカルサービス研究所  
医療法人社団一穂会 (株)ウエルネスパートナー NPO法人ウエルネスサポート (株)エクサウィザーズ (同)エスエスエス (株)N.G.M エネジン(株)  
MSD(株)浜松サテライトオフィス エンシュウ健康保険組合 遠州鉄道(株) 遠州鉄道健康保険組合 遠鉄アシスト(株) (可美公園総合センター・新橋体育セン  
ター) (株)遠鉄ストア (株)遠鉄百貨店 OMソーラー(株) 大塚製薬(株)ニュートラシューティカルズ事業部名古屋支店浜松出張所  
おー川・桜の水辺の会 Oak Voice (株)オークラアクトシティホテル浜松 (株)カーブスジャパン (株)金指商会 かみのけやさん訪問美容  
神谷理研(株) 河合楽器健康保険組合 (株)巖邑堂 (株)杏林堂薬局 協和キリン(株)浜松営業所 共和レザー(株) キリンビバレッジ(株) (株)呉竹荘  
K-LINK s (一社)ここみ サラエナジー(株)浜松支社 坂井モーター(株) サゴーエンタプライズ(株) 佐鳴湖ノルディックウォーク健歩会  
静岡新聞社・静岡放送浜松総局 (株)静岡第一興商 静岡県立森林公園「森林サービス産業」地域協議会 (医)明徳会十全オアシスクリニックメディカルフィッ  
トネス&スパNiceBeaT浜松 (医)明徳会十全記念病院 (学)十全青翔学園静岡医療科学専門学校 (一社)食とコミュニケーション研究所 (株)シルバコンパ  
ス スクロール健康保険組合 すながわ労務サポート スズキ(株) (株)鈴木楽器製作所 鈴木楽器販売(株)浜松営業所 スズキ健康保険組合 (株)スモールポンド  
(株)誠風庵・大山一誠アトリエ 生活協同組合ユーコープ小豆餅店 生活協同組合ユーコープ佐久間店 生活協同組合ユーコープさんじの店 生活協同組合ユー  
コープ富塚店 (株)創生 ソフトブレイン工業(株) (株)ソフトウェアプロダクツ SOMPOひまわり生命保険(株) 第一生命保険(株)浜松支社 (株)タカラ・エムシーマム  
肉市場テクノ店 高部鍼灸院 NPO法人地域創生支援事業団 中外製薬(株)浜松オフィス (株)中日ショッパー 中日新聞東海本社 中部電力(株) テレリハ(株)  
社会福祉法人天竜厚生会 天竜浜名湖鉄道(株) (株)東海トラベル Total body care salon TAIKAN 凸版印刷(株)中部事業部浜松営業所 (株)TOMORUN 鳥居食  
品(株) 中北薬品(株) 永田木材(株) 西静岡ヤクルト販売(株) 日本環境マネジメント(株) 日本ベーリンガーインゲルハイム(株)浜松営業所 認定栄養ケア・ステー  
ションちょぼ NPO法人認知症予防研究室 (有)ぬくもり工房 (株)脳リハビリネットワーク 野村不動産ライフ&スポーツ(株)メガロス浜松市野 パイフォトニ  
クス(株) 橋本螺子(株)  
羽立工業(株) 働くみんなの保健室 はまきた施術院小池店 浜松エフエム放送(株)(株)浜松グランドボウル 認定NPO法人はままつ子育てネットワークぴっぴ  
(公財)浜松市花みどり振興財団 浜松総合法律事務所 (公財)浜松地域イノベーション推進機構 (株)浜松人間科学研究所 浜松パワーフード学会 (一財)浜  
松光医学財団 はままつミュージックバンク運営協議会 (株)原田総合計画 B-up yoga education (株)フィグメント (同)FoodOfficeハチドリ 富国生命保  
険(相)浜松支社 (株)フジEAPセンター (株)PREVENT (株)BLUE LAKE Project (一社)プレス浜松  
(株)ベイシアフードセンター浜松都田テクノ店 (株)ベイシアフードセンター浜松雄踏店 HEALTH FIRST(株) (株)北伸 ホテルクラウンパレス浜松 ホトニク  
ス・グループ健康保険組合 毎日企業(株) (株)マジックシールズ マックスバリュ東海(株) (一社)みんなの認知症情報学会 (株)ミズタニ 三井住友海上あいおい  
生命保険(株) 三井住友海上火災保険(株) (有)むつみ製パン (株)村松商店 社会保険労務士法人村松事務所 明治安田生命保険(相)浜松支社 メディアミックス  
(株) (株)MentalBase森本社会保険労務士事務所 (株)八神製作所浜松営業所 (株)ヤタロー (株)YAMADA ヤマハ健康保険組合 (株)山本エココロジーサービス ユー  
ビーサポート(株) Yui support(株) 雪印ビーンスターク(株) ユニー(株)ブレ葉ウォーク浜北  
ヨクト(株) LIFE STYLEリコージャパン(株)静岡支社 (株)Re・lation (株)ロイヤリティマーケティング ロボセンター技研(株)

18団体

浜松医科大学 静岡大学 聖隷クリストファー大学 常葉大学 聖隷福祉事業団 浜松市医療公社 浜松市医師会 浜松政令市医師会  
浜松市歯科医師会 浜松市薬剤師会 静岡銀行 浜松磐田信用金庫 遠州信用金庫 浜松商工会議所 浜松市社会福祉協議会  
浜松市シルバー人材センター 全国健康保険協会静岡支部 はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点

2024. 2. 13現在

# 浜松ウエルネスプロジェクトの推進体制

## 浜松ウエルネス・ラボ

<目的> 本市をフィールドにした社会実証で得たデータ等の成果を市民・企業還元するとともに、事業化を促進

<活動> 参画企業による実証実験の伴走支援、成果報告等

<参画> 市内外企業等 12団体

 KIRIN

 PREVENT

 浜松医科大学  
Himamatsu University School of Medicine

 SUZUKI

 SHD  
Social Healthcare Design

 社会福祉法人  
聖隷福祉事業団

 SOMPOひまわり生命

 moderna

浜松市医療公社

FANCL

 SHIONOGI

 浜松市

浜松市は、官民連携による  
ウエルネスプロジェクトをとおして  
予防・健幸都市（ウエルネスシティ）  
の実現を目指します。

## (3) その他